

# 福井大学研究シーズデータ

名前・学部・学科等	沖 久也・工学部・生物応用化学科				
研究情報の分類	シーズ      特許      新製品      分析/解析      調査				
研究分野の分類	3	以下の18項目から一つ選び番号を左欄に記入する。 1.物理系 2.エネルギー系 3.化学系 4.バイオ系 5.環境系 6.海洋・宇宙系 7.交通系 8.機械系 9.材料系 10.電子・電気系 11.情報系 12.建築・建設系 13.医学系 14.健康・保険系 15.看護・福祉系 16.農業・林業系 17.水産・畜産系 18.その他			
重点研究分野への該当	I T      ナノ      バイオ      環境・エネルギー      その他				
キーワード(5個以内)	クロム錯体	アミノ酸	立体選択性	光学異性体	異性化反応
研究情報の名称	クロム(III)アミノ錯体の立体選択的合成と異性化反応				
<p><b>概要</b></p> <p>シ - ズ：金属アミノ酸錯体の研究は多くあるが、コバルト(III)や銅(II)のアミノ錯体では光学異性体の立体選択的合成は起こらないと言われている。クロム(III)ではアミノ酸の種類や反応に用いる溶媒などの違いで種々の光学純度の異なるトリス型錯体がえられることを見出した。</p> <p>現在は トリス型の前駆体と考えらる窒素原子で単座配位したアミノ酸と水や溶媒および2個の2座配位したアミノ酸からなるビス型錯体の合成に成功したので それらを出発物質として アルコ - ル類や炭酸プロピレンを溶媒とした反応中での立体選択的合成の違いとその原因について研究している。</p> <p>さらに 得られた錯体の固体状態での熱異性化についても研究している。</p> <p>これらの研究は 現在種々の分野で注目されている立体選択的合成に関して新しい知見が得られ溶液化学や生物化学の基礎的なデ - タを提供するのみならず 今後分析化学的は新しい光学異性体用のカラムの充填剤としての応用や新薬製造の際の基礎的デ - タとしての面が期待される。</p> <p>金属錯体 特にクロム、コバルト錯体などの合成やその構造決定についてや光学分割などの面の技術相談などには応じられる。</p>					
<p>シーズ</p> <p>新規錯体の合成法の開発や光学異性体の光学分割や高速液体クロマトグラフィ - による異性体の分離法について</p> <p>金属錯体の特にクロム(III)錯体の合成とその構造決定</p> <p>金属錯体の立体選択的合成法の確立</p> <p>立体選択性の反応機構の解明</p> <p>金属錯体の立体選択</p> <p>金属錯体の立体選択性におよぼす溶媒の影響と</p> <p>光学異性体分離用のカラムの作製</p> <p>クロム(III)錯体をふくむ新薬の開発</p> <p>最終的な製品名、応用分野 (製品のイメージがわかるように)</p> <p>起      承      転      結</p>					
関連している企業・大学・団体等					
関連する特許1件					
関連する論文1編	H.Oki, etc . Synth.React.Met.Org.Chem.2003,33,837-846.				